

## 資料の情報と釈文

### 四・国会開設の勅諭

展示資料：公文附属の図・勅語類・(一五) 国会開設之勅諭

請求番号：附A 00304115

デジタルアーカイブ URL：<https://www.digital.archives.go.jp/img/L/2359943>

釈文の凡例については、[こちら](#)をご覧ください。

### 【釈文】

#### 勅諭

朕祖宗二千五百有余年ノ鴻緒ヲ嗣キ、中古紐ヲ解クノ乾綱ヲ振張シ、大政ノ統一ヲ総攬シ、又夙ニ立憲ノ政体ヲ建テ、後世子孫継クヘキノ業ヲ為サンコトヲ期ス。嚮ニ明治八年ニ元老院ヲ設ケ、十一年ニ府県会ヲ開カシム。此レ皆漸次基ヲ創メ、序ニ循テ歩ヲ進ムルノ道ニ由ルニ非サルハ莫シ。爾有衆、亦朕カ心ヲ諒トセン。顧ミルニ、立国ノ体国各宜キヲ殊ニス。非常ノ事業実ニ輕挙ニ便ナラス。我祖我宗、照臨シテ上ニ在リ。遺烈ヲ揚ケ、洪模ヲ弘メ、古今ヲ變通シ、断シテ之ヲ行フ。責朕カ躬ニ在リ。将ニ明治二十三年ヲ期シ、議員ヲ召シ、国会ヲ開キ、以テ朕カ初志ヲ成サントス。今在廷臣僚ニ命シ、仮スニ時日ヲ以テシ、經画ノ責ニ当ラシム。其組織権限ニ至テハ、朕親ラ衷ヲ裁シ、時ニ及テ公布スル所アラントス。

朕惟フニ、人心進ムニ偏シテ、时会速ナルヲ競フ。浮言相動カシ、竟ニ大計ヲ遺ル。是レ宜シク今ニ及テ、謨訓ヲ明徴シ、以テ朝野臣民ニ公示スベシ。若シ仍ホ故サラニ躁急ヲ争ヒ、事變ヲ煽シ、国安ヲ

害スル者アラハ、処スルニ国典ヲ以テス  
ベシ。特ニ茲ニ言明シ爾有衆ニ諭ス。

奉

勅 太政大臣三条実美

明治十四年十月十二日